当製品は別売の拡張ユニットを接続しますと、機能が拡張されます。

- AV入力が2系統に増設されます。入力信号はコンポジット、コンポーネント、HDMI、アナログRGBに対応しています。
- HDMI対応のスマートフォンなどが接続出来ます。
  ※接続ケーブルはアフターマーケットでご用意ください。
- カメラ入力が2系統に増設されます。
  1系統はアルパインフロントカメラダイレクトコントロール可能です。
- リヤモニター出力が装備されます。
  ※リヤモニター出力にはカメラ映像は表示されません。
  ※AV1、AV2に高画質入力をした場合、その映像はリヤモニター出力には表示されません。
- リヤモニター出力に純正モニター映像を出力出来るようになります。純正DVDなどがリヤモニターで視聴出来ます。
  (純正DVD等を走行中視聴する場合には純正セーフティ機能を解除する必要があります)
- 音声出力はRCAのLRとなっています。またAVソース連動リモート出力を装備しています。
  BMW純正「スナップ･イン･アダプター」搭載車輌は弊社製品DUAL AUXが使用出来ない可能性が有ります。(純正AUX裏のコネクタが6Pタイプになっていると使用出来ません。)
  その場合、別売の音声セレクトケーブル「AT-APSEL」を使用すれば、拡張ユニットからの信号で音声を自動切り替え出来ます。
  ※詳しくは拡張ユニットVisual Expand Plus　AT-VEP50の説明書をご参照ください。

E89、Z4のGPS受信に不具合が発生する車輌について

E89、Z4の一部で、当製品装着で純正ナビのGPS感度に影響が出る場合があります。
純正ナビは車輌が完全スリープ後は、以前のGPSデータを覚えていません。車輌起動後に再度捕捉するようになるのですが、純正で受信感度が良い車輌と、感度が悪く捕捉に時間が掛かる車輌があります。
自車位置表示がズレている場合は、更に捕捉に時間が掛かります。
捕捉に時間が掛かる車輌は、当製品が起動していると更に捕捉が遅くなり、場合によっては捕捉出来なくなります。
当製品は車輌のCAN信号が有る状態では常にONで、純正映像も取り込みをしてから出力を行っています。
これは、拡張ユニット接続時に純正映像出力に対応する為や、外部映像に切り変わる際の一瞬の画面チラ付きを避ける為です。
GPS感度に影響の有る車輌の場合は、当製品のDIPスイッチ3番をONにして使用してください。
起動時は純正映像は取り込みせず、スルーで出力する状態になります。外部映像に切り替え動作を行った後、通常動作となります。その間にGPS受信で捕捉が行えれば、その後は捕捉し続けます。
(VEMのメニューを開く、地デジなどの(V)入力を表示するなどの後は通常動作です。)
なるべく起動後3分間ぐらいは純正状態で使用してから当製品を動作させてください。
(C)入力に関しては、純正画面からバックカメラに切り換えた後は、再度純正映像はスルーとなります。
自宅から移動する際にバックで出る必要が有る場合を想定して、その時だけONになり、その後はスルーになります。

DIP3番をONにする弊害
- 最初の画面切り替えの際に一瞬チラ付きが発生致します。(その際、本体内部でリレー動作音も出ます。)
- VEMメニューや(V)入力に切り換える動作を行うまでは、(C)入力リモート信号での小窓表示は対応出来ません。
- VEMメニューや(V)入力に切り替え動作を行うまでは、拡張ユニットでの純正映像出力に対応出来ません。
- 拡張ユニットでのフロントカメラ表示も(C)入力と同様の動作状況となります。

Visual Expand Module

AT-VEM20

MADE IN JAPAN

ver.1.02

第2世代iDriveのLVDSコントロール車用の外部映像入力機器です。

SET UP MANUAL

Expand

基本操作は21ページをご確認して下さい。

警告 安全のために必ず守って頂きたい事。守らないと生命に危険、または重大な傷害につながる恐れがあります。

警告
- 装着作業の際、必ずバッテリーの(−)端子を外して作業してください。接続したままの作業は配線がショートすることがあり、感電の恐れや車輌破損の原因となります。

注意
- 純正部品の取り外し、取り付けは整備要領書に従い、正しく行ってください。
- 配線の結線などの取付は確実に行ってください。ショートや感電の恐れ、車輌破損またはトラブルの原因となります。
- 誤配線やショート、静電気により機器の故障、破損や感電する場合がありますので細心の注意の上作業を行ってください。
- 取り付けた配線などは定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故や故障、トラブルの原因となります。
- 取り付けは安全を確保した上で確実な作業を行ってください。
- 万一異常が発生した場合、直ちに車輌を安全な場所に停止させ、電源を切り異常箇所を確認・点検を行ってください。

取付販売店へのお願い：本取扱説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。

株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

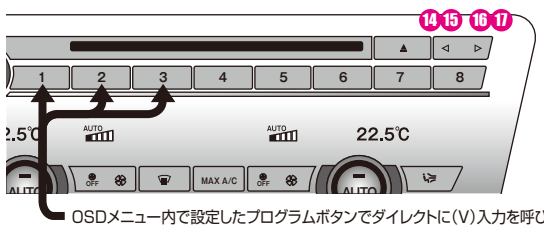
もくじ

1 もくじ
2 当製品取り付け可能車種
3 当製品の特徴1
4 当製品の特徴2
5 当製品の部品構成
6 作業の順序/(F)系5シリーズ、6シリーズへ装着の注意事項
7 基本接続図
8 電源/CANハーネスの接続
9 (E)系車輌用ダイレクト呼び出しリモート/スライドスイッチ/DIPスイッチの設定
10 各ケーブルの接続
11 当製品のMENU設定
12 当製品のMENU設定
13 当製品のMENU設定
14 当製品のMENU設定
15 当製品のMENU設定
16 当製品のMENU設定
17 当製品のMENU設定
18 BMWメンテナンスモードについて
19 プログラムアップデートについて
20
21 基本操作方法
22 基本操作表
23 地デジチューナーのコントロール(データシステム)
24 地デジチューナーのコントロール(パイオニア/ユニデン)
25 地デジチューナーのコントロール(パナソニック)
26 地デジチューナーのコントロール(ヒューマックス)
裏表紙 拡張ユニットVisual Expand Plus　AT-VEP50の紹介

地デジチューナーのコントロール(ヒューマックス)

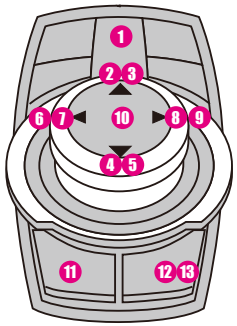
iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。

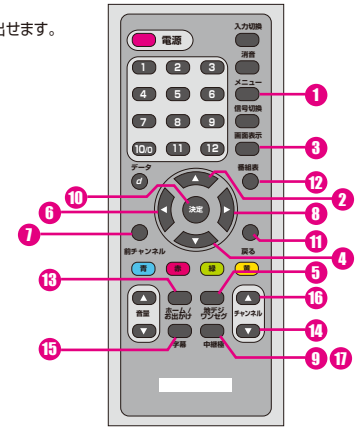
● 地デジをFULL画面で表示中は下記の操作が車輌スイッチで行えるようになります。
純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジ操作は停止します。
オーディオ部の左右ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(E)系車輌はリモート接続時のみ。
ステアリング部の上下ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(F)系除く。



E系車両のみ

OSDメニュー内で設定したプログラムボタンでダイレクトに(V)入力を呼び出せます。
(V)入力表示中に更に押すと画面サイズが変わります。
※(E)系車輌はダイレクト呼び出しリモート線接続時のみ有効です。





				iDriveコントローラーがHS-CANの車輌
MENUボタン	1	2回連打	リモコンのMENUボタン信号	リモコンのMENUボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	短スライド	リモコンの↑ボタン信号	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	3	長スライド	画面表示ボタン信号	チャンネル↑ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	短スライド	リモコンの↓ボタン信号	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	5	長スライド	地デジ/ワンセグボタン信号	チャンネル↓ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	短スライド	リモコンの←ボタン信号	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	7	長スライド	前チャンネルボタン信号	前チャンネルボタン信号
ダイヤル→スライド	8	短スライド	リモコンの→ボタン信号	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	9	長スライド	中継局ボタン信号	中継局ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	短押し	リモコンの決定ボタン信号	リモコンの決定ボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	ホーム/お出かけボタン信号	ホーム/お出かけボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	チャンネル↓ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部←ボタン	15	長押し	字幕ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	16	短押し	チャンネル↑ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	17	長押し	中継局ボタン信号	外部機器操作不可
ステアリング↑ボタン	16	短押し	チャンネル↑ボタン信号	チャンネル↑ボタン信号
ステアリング↑ボタン		長押し	外部映像表示中サイズ切換	外部映像表示中サイズ切換
ステアリング↓ボタン	14	短押し	チャンネル↓ボタン信号	チャンネル↓ボタン信号
ステアリング↓ボタン		長押し	(V)入力←→純正映像に切換	(V)入力←→純正映像に切換

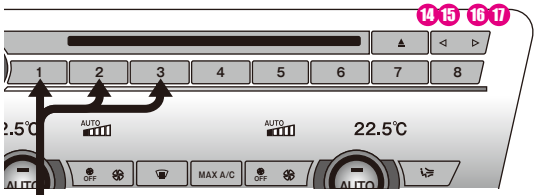
青色背景部分の操作はFULL画面表示時のみ有効です。
黄色背景は(E)系車輌ではダイレクト呼び出しリモート接続時のみ有効
桃色背景は(E)系車輌のみ有効です。

iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。
オーディオ部左右スイッチ 14 15 16 17 が使用出来ません。
iDriveコントローラーの↑長押し、↓長押し操作がチャンネル↑、チャンネル↓信号に変更されています。

地デジチューナーのコントロール（パナソニック）

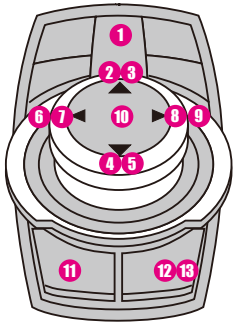
iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。

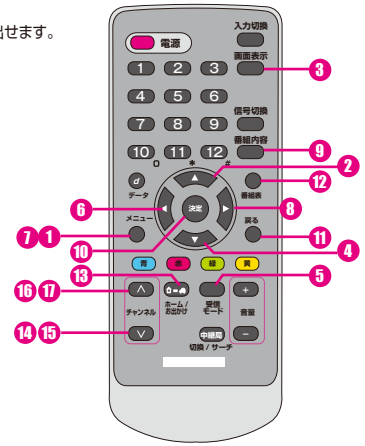
● 地デジをFULL画面で表示中は下記の操作が車輌スイッチで行えるようになります。
純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジ操作は停止します。
オーディオ部の左右ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(E)系車輌はリモート接続時のみ。
ステアリング部の上下ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(F)系除く。



E系車両のみ

OSDメニュー内で設定したプログラムボタンでダイレクトに(V)入力を呼び出せます。
(V)入力表示中に更に押すと画面サイズが変わります。
※(E)系車輌はダイレクト呼び出しリモート線接続時のみ有効です。





			iDriveコントローラーがHS-CANの車輌
MENUボタン	① 2回連打	リモコンのMENUボタン信号	リモコンのMENUボタン信号
ダイヤル↑スライド	② 短スライド	リモコンの↑ボタン信号	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	③ 長スライド	画面表示ボタン信号	チャンネル↑ボタン信号
ダイヤル↓スライド	④ 短スライド	リモコンの↓ボタン信号	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	⑤ 長スライド	受信モードボタン信号	チャンネル↓ボタン信号
ダイヤル←スライド	⑥ 短スライド	リモコンの←ボタン信号	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	⑦ 長スライド		
ダイヤル→スライド	⑧ 短スライド	リモコンの→ボタン信号	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	⑨ 長スライド	番組内容ボタン信号	番組内容ボタン信号
ダイヤルプッシュ	⑩ 短押し	リモコンの決定ボタン信号	リモコンの決定ボタン信号
BACKボタン	⑪ 短押し	戻るボタン信号	戻るボタン信号
OPTIONボタン	⑫ 短押し	番組表ボタン信号	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	⑬ 長押し	ホーム/お出かけボタン信号	ホーム/お出かけボタン信号
オーディオ部←ボタン	⑭ 短押し	チャンネル↓ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部←ボタン	⑮ 長押し	上記ボタンの長押し信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	⑯ 短押し	チャンネル↑ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	⑰ 長押し	上記ボタンの長押し信号	外部機器操作不可
ステアリング↑ボタン	⑯ 短押し	チャンネル↑ボタン信号	チャンネル↑ボタン信号
ステアリング↑ボタン	長押し	外部映像表示中サイズ切換	外部映像表示中サイズ切換
ステアリング↓ボタン	⑭ 短押し	チャンネル↓ボタン信号	チャンネル↓ボタン信号
ステアリング↓ボタン	長押し	(V)入力←→純正映像に切換	(V)入力←→純正映像に切換

青色背景部分の操作はFULL画面表示時のみ有効です。
黄色背景は(E)系車輌ではダイレクト呼び出しリモート接続時のみ有効
桃色背景は(E)系車輌のみ有効です。

iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。
オーディオ部左右スイッチ ⑭⑮⑯⑰ が使用出来ません。
iDriveコントローラーの↑長押し、↓長押し操作がチャンネル↑、チャンネル↓信号に変更されています。

取付可能車輌

1シリーズ	E87系	第2世代iDrive装着車輌のみ。第1世代iDrive車輌は適応外。
3シリーズ	E90系	第2世代iDrive装着車輌のみ。第1世代iDrive車輌はAT-VEM10で対応。
5シリーズ	E60系 F10系	第2世代iDrive装着車輌のみ。第1世代iDrive車輌はAT-VEM10で対応。 第2世代iDrive装着車輌のみ。第3世代iDrive車輌はAT-VEM30で対応。
6シリーズ	E63系 F12系	第2世代iDrive装着車輌のみ。第1世代iDrive車輌はAT-VEM10で対応。 第2世代iDrive装着車輌のみ。第3世代iDrive車輌はAT-VEM30で対応。
7シリーズ	F01、02、03、04	第2世代iDrive装着車輌のみ。第3世代iDrive車輌はAT-VEM30で対応。
X1	E84	
X3	F25	第2世代iDrive装着車輌のみ。第3世代iDrive車輌はAT-VEM30で対応。
X5、X6	E70、E71	第2世代iDrive装着車輌のみ。第1世代iDrive車輌はAT-VEM10で対応。
Z4	E89	

iDriveの見分け方

第1世代iDrive　AT-VEM10

純正メニュー画面が十字型の配列で中央にiとなっている画面の車輌(除くE65)
純正ユニットCCC

第2世代iDrive

純正メニューがスクロールタイプで、NAVIの自車位置マークが(赤)の車輌
純正ユニットCIC

自車位置マークが(赤)

第3世代iDrive　AT-VEM30

純正メニューがスクロールタイプで、NAVIの自車位置マークが(青)の車輌
純正ユニットNBT

自車位置マークが(青)

製品の特徴1

当製品は映像入力2系統を装備しています。

1系統はAV機器用で、もう1系統はカメラ用で設定してますので、個々の操作方法は異なります。

2系統の映像入力を同時に表示する事が出来ます。 （2つの内、1系統(C)入力は小窓表示となります。）

たとえばAV入力の地デジを表示しながら、小窓表示画面でカメラ映像を表示出来ます。
AVをFULL画面で視聴しながら、右上に小窓表示でカメラ映像を表示。
AVをMAIN画面で視聴しながら、SUB画面で純正MAP、SUB画面右上に小窓表示でカメラ映像を表示。
AVをSUB画面で視聴しながら、MAIN画面で純正MAP、MAIN画面右上に小窓表示でカメラ映像を表示。
AV入力に対しては走行中の視聴を出来ないようにする事も可能です。
各映像入力は個別に画質調整が出来ます。

カメラ用入力は設定でリバースギヤ連動に出来ます。
また、任意にカメラ映像に切り換える事も出来ます。
ですのでバックカメラ以外での使用も可能です。

任意にカメラ映像を表示出来る機能を搭載の為、連動カメラ電源出力を装備してあります。
カメラ接続時はこのカメラ用電源をご使用ください。
バックカメラ用にガイドラインの表示機能を搭載しています。カメラ映像に合わせ位置の調整などが行えます。
また、ステアリングに連動した操舵角連動ガイドラインとなっています。
リバース連動でのカメラ表示はFULL画面表示及びPinP画面表示のみとなります。
(PinP画面表示はPDC装着車輌で純正カメラ無し車輌用。)
また、リバース連動時のみガイドラインを表示出来ます。

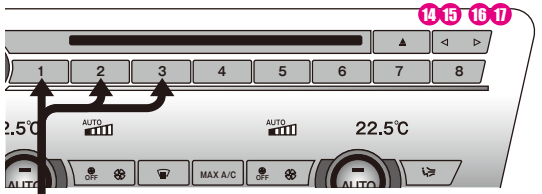
カメラ用入力はリモート信号による割込表示にも対応。
ユピテル製レーダー探知機Z700Nsdのリモート出力を接続すれば、レーダーの映像が割り込み表示します。

純正画面表示中は、画面右上に小窓表示で割込みます。
MAIN画面で地デジなどを視聴中はSUB画面右上に小窓表示で割込みます。
SUB画面で地デジなどを視聴中はMAIN画面右上に小窓表示で割込みます。
FULL画面で地デジなどを視聴中は画面右上に小窓表示で割込みます。

地デジチューナーのコントロール(パイオニア/ユニデン)

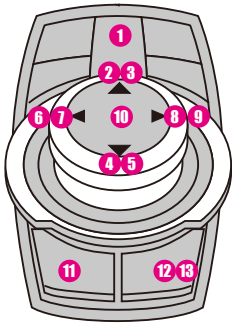
iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。

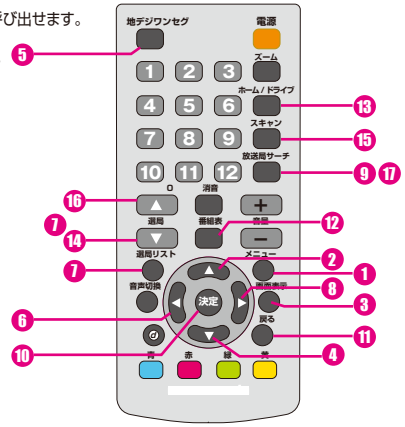
● 地デジをFULL画面で表示中は下記の操作が車輌スイッチで行えるようになります。
純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジ操作は停止します。
オーディオ部の左右ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(E)系車輌はリモート接続時のみ。
ステアリング部の上下ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(F)系除く。



E系車両のみ

OSDメニュー内で設定したプログラムボタンでダイレクトに(V)入力を呼び出せます。
(V)入力表示中に更に押すと画面サイズが変わります。
※(E)系車輌はダイレクト呼び出しリモート線接続時のみ有効です。 5





			iDriveコントローラーがHS-CANの車輌
MENUボタン	1 2回連打	リモコンのMENUボタン信号	リモコンのMENUボタン信号
ダイヤル↑スライド	2 短スライド	リモコンの↑ボタン信号	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	3 長スライド	画面表示ボタン信号	選局↑ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4 短スライド	リモコンの↓ボタン信号	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	5 長スライド	地デジ←→ワンセグボタン信号	選局↑ボタン信号
ダイヤル←スライド	6 短スライド	リモコンの←ボタン信号	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	7 長スライド	選局リストボタン信号	選局リストボタン信号
ダイヤル→スライド	8 短スライド	リモコンの→ボタン信号	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	9 長スライド	放送局サーチボタン信号	放送局サーチボタン信号
ダイヤルプッシュ	10 短押し	リモコンの決定ボタン信号	リモコンの決定ボタン信号
BACKボタン	11 短押し	戻るボタン信号	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12 短押し	番組表ボタン信号	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13 長押し	ホーム/ドライブボタン信号	ホーム/ドライブボタン信号
オーディオ部←ボタン	14 短押し	選局↓ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部←ボタン	15 長押し	スキャンボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	16 短押し	選局↑ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	17 長押し	放送局サーチボタン信号	外部機器操作不可
ステアリング↑ボタン	16 短押し	選局↑ボタン信号	選局↑ボタン信号
ステアリング↑ボタン	長押し	外部映像表示中サイズ切換	外部映像表示中サイズ切換
ステアリング↓ボタン	14 短押し	選局↓ボタン信号	選局↓ボタン信号
ステアリング↓ボタン	長押し	(V)入力←→純正映像に切換	(V)入力←→純正映像に切換

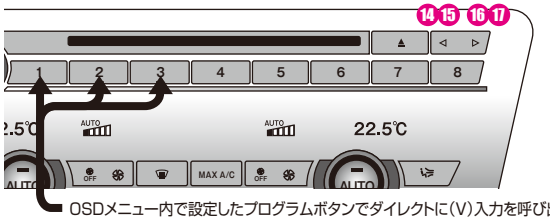
青色背景部分の操作はFULL画面表示時のみ有効です。
黄色背景は(E)系車輌ではダイレクト呼び出しリモート接続時のみ有効
桃色背景は(E)系車輌のみ有効です。

iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。
オーディオ部左右スイッチ 14 15 16 17 が使用出来ません。
iDriveコントローラーの↑長押し、↓長押し操作が選局↑、選局↓信号に変更されています。

地デジチューナーのコントロール(データシステム)

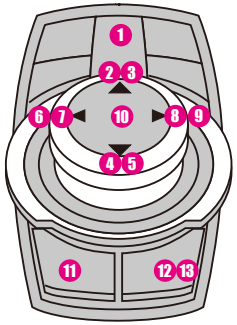
iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。

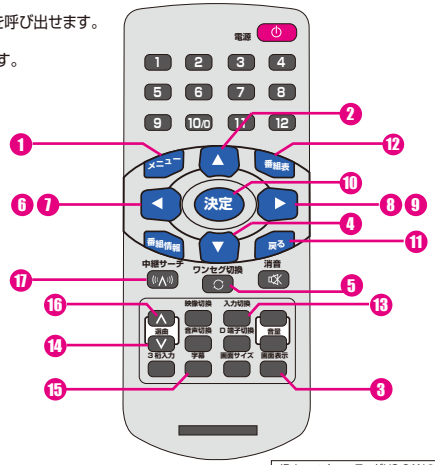
● 地デジをFULL画面で表示中は下記の操作が車輌スイッチで行えるようになります。
純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジ操作は停止します。
オーディオ部の左右ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(E)系車輌はリモート接続時のみ。
ステアリング部の上下ボタンは有効ですので、チャンネル操作は可能です。(F)系除く。



E系車両のみ

OSDメニュー内で設定したプログラムボタンでダイレクトに(V)入力を呼び出せます。
(V)入力表示中に更に押すと画面サイズが変わります。
※(E)系車輌はダイレクト呼び出しリモート線接続時のみ有効です。





				iDriveコントローラーがHS-CANの車輌
MENUボタン	1	2回連打	リモコンのMENUボタン信号	リモコンのMENUボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	短スライド	リモコンの↑ボタン信号	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	3	長スライド	画面表示ボタン信号	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	短スライド	リモコンの↓ボタン信号	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	5	長スライド	ワンセグ切換ボタン信号	ワンセグ切換ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	短スライド	リモコンの←ボタン信号	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	7	長スライド	リモコンの←ボタン長押し信号	リモコンの←ボタン長押し信号
ダイヤル→スライド	8	短スライド	リモコンの→ボタン信号	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	9	長スライド	リモコンの→ボタン長押し信号	リモコンの→ボタン長押し信号
ダイヤルプッシュ	10	短押し	リモコンの決定ボタン信号	リモコンの決定ボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	入力切換ボタン信号	入力切換ボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	選局↓ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部←ボタン	15	長押し	字幕ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	16	短押し	選局↑ボタン信号	外部機器操作不可
オーディオ部→ボタン	17	長押し	中継局サーチボタン信号	外部機器操作不可
ステアリング↑ボタン	16	短押し	選局↑ボタン信号	選局↑ボタン信号
ステアリング↑ボタン		長押し	外部映像表示中サイズ切換	外部映像表示中サイズ切換
ステアリング↓ボタン	14	短押し	選局↓ボタン信号	選局↓ボタン信号
ステアリング↓ボタン		長押し	(V)入力←→純正映像に切換	(V)入力←→純正映像に切換

青色背景部分の操作はFULL画面表示時のみ有効です。
黄色背景は(E)系車輌ではダイレクト呼び出しリモート接続時のみ有効
桃色背景は(E)系車輌のみ有効です。

iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は一部操作制限が有ります。
オーディオ部左右スイッチ 14 16 16 17 が使用出来ません。

製品の特徴2

個々の入力映像に対して画質調整が行えます。

しかもイルミがONの状態とOFFの状態を個別に設定出来ます。
カメラ映像などは昼間と夜間での映像の差を有る程度修正出来ます。
AV映像なども、画面のディマーだけでは足りない分を補う事が出来ます。

当製品には、音声回路は搭載していません。
地デジなどの音声は直接車輌AUXへ接続してください。

当製品の映像入力部分には、映像ノイズフィルターが装備されています。
ムラの無い綺麗な映像でお楽しみ頂けます。

電源部分にもノイズフィルターが装備されています。

当製品では、従来から有るAVインターフェイスとは異なる電子部品類を使用して映像の制御方法も刷新しています。純正映像との2画面表示などでも、映像切り替えの際にチラツキや画面揺れが起こる心配はありません。

当製品の操作は車輌のCAN信号にてコントロールされます。iDriveコントローラーの信号を読み取るだけで無く、制御する方式を採用しました。

(E)系車輌用に、シリアル入力線を装備しています。この線を純正オーディオパネルの基板部分にハンダ付けにて信号を取得するようにすると、(F)系車輌と同じようにプログラムボタンダイレクト呼び出しなどが行えるようになります。
※操作が圧倒的に楽になります。接続をお勧めします。 8ページ参照

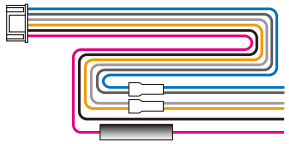
地デジチューナーコントロール機能搭載

データシステム
パイオニア/ユニデン
パナソニック
ヒューマックス

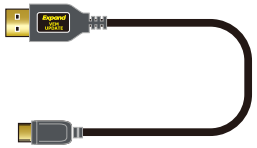
商品構成

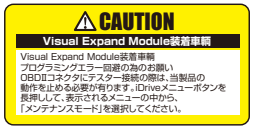
当製品本体

モニターケーブル


電源/CANケーブル

3.5Φミニジャックケーブル3m

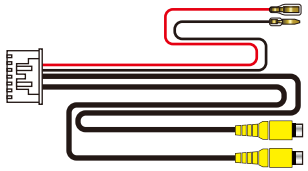

UPDATE用USBケーブル



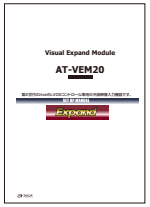
コーションステッカー

電源出力ケーブル

リモート入力ケーブル


映像入力ケーブル

保証書



取付/取扱説明書(本書)

※当製品の(C)入力の映像はカメラ用に用意してますが、リバース時以外にも任意に表示が可能です。
(C)表示連動電源は当製品が(C)入力映像を表示動作の時に連動して電源を出力します。
この電源を使用せずにバックカメラをリバース電源で取得した場合、リバース時以外での
表示の時はカメラが起動されず、ブルースクリーンとなります。ご注意ください。

コントローラー操作

		純正画面時	外部映像FULL画面表示時	2画面表示時
MENU	短押し	純正操作	純正画面に戻す	純正画面に戻す
MENU	2回連打	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	無反応
MENU	長押し	OSD TOP MENU表示	OSD TOP MENU表示	OSD TOP MENU表示
OPTION	短押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	純正操作
OPTION	2回連打	(C)小窓表示ON/OFF	(C)小窓表示ON/OFF	(C)小窓表示ON/OFF
OPTION	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	純正画面に戻す
左回転		純正操作	OSDメニュー操作	純正操作
右回転		純正操作	OSDメニュー操作	純正操作
←	短押し	純正操作	OSDメニューや地デジ操作	純正操作
←	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	純正操作
→	短押し	純正操作	OSDメニューや地デジ操作	純正操作
→	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	純正操作
プッシュ	短押し	純正操作	OSDメニューや地デジ操作	純正操作
プッシュ	2回連打	(C)FULL表示ON/OFF	(C)FULL表示ON/OFF	(C)FULL表示ON/OFF
BACK	短押し	純正操作	OSDメニューや地デジ操作	純正操作
MAP	短押し	純正操作	純正画面に戻す	純正操作
↑	短押し	純正操作	OSDメニューや地デジ操作	純正操作
↑	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	純正操作
↓	短押し	純正操作	OSDメニューや地デジ操作	純正操作
↓	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	純正操作
MEDIA or CD	短押し	純正操作	純正画面に戻す	純正画面に戻す
RADIO	短押し	純正操作	純正画面に戻す	純正画面に戻す
TEL	短押し	純正操作	純正画面に戻す	純正画面に戻す
オーディオ部 ←	短押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	地デジ表示中は地デジ操作
オーディオ部 ←	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	地デジ表示中は地デジ操作
オーディオ部 →	短押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	地デジ表示中は地デジ操作
オーディオ部 →	長押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	地デジ表示中は地デジ操作
プログラム 1	短押し	設定の動作	設定の動作	設定の動作
プログラム 2	短押し	設定の動作	設定の動作	設定の動作
プログラム 3	短押し	設定の動作	設定の動作	設定の動作
ステアリング ↑	短押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	地デジ表示中は地デジ操作
ステアリング ↑	長押し	純正操作	外部映像表示中サイズ切換	外部映像表示中サイズ切換
ステアリング ↓	短押し	純正操作	地デジ表示中は地デジ操作	地デジ表示中は地デジ操作
ステアリング ↓	長押し	純正操作	(V)入力←→純正映像に切換	(V)入力←→純正映像に切換

黄色背景は(E)系車輌ではダイレクト呼び出しリモート接続時のみ有効
桃色背景は(E)系車輌のみ有効です。

iDriveコントローラーがHS-CANの車輌は、オーディオ部←、オーディオ部→での外部機器の操作は出来ません。

基本操作方法

- 当製品はiDriveコントローラーの操作信号を利用して動作致します。このコントローラーは通常は純正システムをコントロールする為の装置ですが、当製品の映像FULL画面表示中は操作信号を乗っ取って動作致します。
  OSDメニューや地デジの操作をiDriveコントローラーで操作しても、表示画面裏で純正が動いてしまう事は有りません。
- 外部映像と純正映像の2画面表示(MAIN画面表示やSUB画面表示)の時は、iDriveコントローラーの制御は行いません。画面に見える純正映像の操作を優先させる為、この表示方法では、iDriveコントローラーでは地デジの操作は行えません。

※チャンネル操作などは、オーディオ部のスイッチで操作出来ます。(iDriveコントローラーHS-CAN車輌除く)

TOP MENUから個別に操作する方法

一番判り易いですがボタンの操作数が多くなります。

(V)入力、(C)入力表示方法

iDriveコントローラーのMENUボタンを長押しします。当製品のTOP MENU画面に切り替わります。
その中のアイコンから、ソースと画面サイズを選択しますと表示されます。

各機能をダイレクトに操作する方法

ワンタッチなどで操作可能ですが、操作方法を覚える必要が有ります。

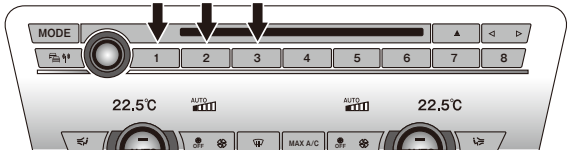
(V)入力表示方法

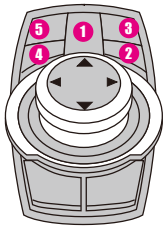
オーディオ部のプログラムボタン1番を押します。(V)入力の映像に切り替わります。
(V)入力表示中に再度押しますと画面サイズが切り替わります。((E)系車輌はダイレクト呼び出しリモート接続時のみ。)
※当製品の設定画面で登録ボタンを変更した場合は、そのボタンに機能が移行します。(初期設定は1番です。)
※プログラムボタンにAUXを登録しておくと、映像と音声がワンタッチで切り替え出来ます。
ステアリング右側↓ボタン長押しで(V)入力の映像に切り替わります。その状態で↑ボタン長押しで
画面サイズが切り替わります。(ステアリング操作が可能なのは(E)系車輌のみです。)

(C)入力表示方法

①iDriveコントローラーのプッシュボタンを2回連続で連打しますと、(C)入力をFULL画面で表示します。再度連打しますと元の画面に戻ります。
②iDriveコントローラーのOPTIONボタンを2回連続で連打しますと、(C)入力を小窓画面で表示します、再度連打しますとOFFになります。

設定で登録したボタンを押すと画面切り替え出来ます。押す度に画面サイズが切り替わります。
※(E)系車輌はリモート入力線(青)を接続時のみ使用出来ます。





FULL　MAIN　SUB

外部映像から純正画面に切り替える方法

iDriveコントローラーの❶MENUボタン、❷MAPボタン、❸TELボタン、❹RADIOボタン、
❺MEDIA or CDボタンなどを短押ししますと純正画面に戻ります。
詳しくは操作方法表をご覧ください。

作業の流れ

- **バッテリーまでアクセス出来る状態にし、車輌のキーをOFFにして5分ほど放置してバッテリーのマイナス端子を外します。**
- **バッテリーを外さずに作業する場合、CAN信号配線が加工された状態でユニットが接続されないまま、CAN信号を復帰するのは避けてください。**
- **純正ユニット(CIC)を取り外します。**
- **純正40Pコネクタの配線へ当製品の電源/CANハーネスを接続します。**
  配線色、結線箇所は8ページの結線図を参照してください。
- **当製品のDIPスイッチの設定を行います。**
  9ページのDIPスイッチの設定を参照してください。
- **純正モニターを取り外します。**
- **当製品同梱のモニターケーブルを、LDVS OUT～純正モニター間で接続します。**
- **純正のモニターケーブルを当製品のLDVS INへ接続します。**
- **接続する映像機器を取付け、当製品に接続します。**
  音声を有する機器の音声信号は車輌AUXへ接続します。
- **各部、組み付け、バッテリーのマイナス端子を接続します。**

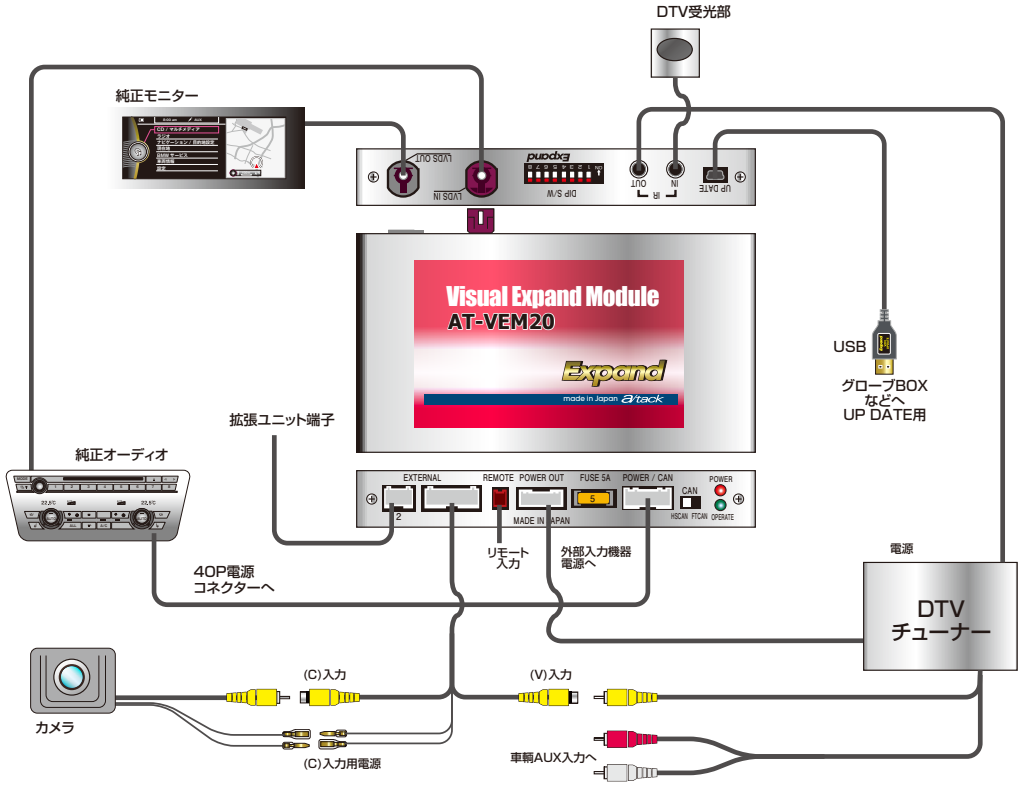
重 要

5シリーズ、6シリーズの一部(2012、7月生産以降の第2世代iDrive車輌)では、
iDriveコントローラーの信号が
HS-CAN信号となっています。
この車輌の場合、当製品の取付方法、操作方法が変わります。
車輌登録時期が2012、8月以降の車輌の場合、作業前にiDriveコントローラー部のCAN配線の色を確認して下さい。(CAN配線が黄/赤、黄/茶ならHS-CANです。)
該当車輌をCIC裏のFT-CANで接続しますと、iDriveコントローラーの信号を受け付けません。
尚、現在の新車販売車輌は第3世代iDrive(NBT)に変更の為、AT-VEM30で適合となります。

基本接続図

● 従来品や他社製品と違い、モニターケーブルのIN/OUTの配置が異なっています。
　間違いの無いよう接続してください。

● コントロール機能搭載の地デジチューナーの受光部は当製品を経由して接続します。



● 音声信号は車輌AUXへ接続します。別売のDUAL AUXを使用しますと便利です。
　※BMW純正「スナップ・イン・アダプター」搭載車輌はDUAL AUXは使用出来ない可能性が有ります。

重 要
HS-CAN車輌は当製品のCAN信号接続部分はCIC40Pコネクタでは無く、
iDriveコントローラー部になります。

プログラムアップデート画面

● このモードは当製品のプログラムアップデートをする為のモードです。
当製品のUPDATE用USB端子をノートPCなどに接続して、当社が提供するバージョンUP
プログラムを書き込む事でアップデートが可能となります。

※ プログラムアップデートをしますと全ての設定が初期化されます。
入力機器の現在の設定状況を、「詳細設定画面」で確認しておいてください。

※ ガイドラインや画質調整も初期化されます。
こちらも各設定画面で数値を控えておく事をお勧めします。

(V)入力		ON/OFF	OSD表示	プログラムボタン	DTVコントロール
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	イルミOFF	BLACK LEVEL	BRIGHTNESS	CONTRAST	SHARPNESS
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	イルミON	BLACK LEVEL	BRIGHTNESS	CONTRAST	SHARPNESS
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
(C)入力		ON/OFF	OSD表示	リバース動作	ガイドライン表示
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	イルミOFF	BLACK LEVEL	BRIGHTNESS	CONTRAST	SHARPNESS
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	イルミON	BLACK LEVEL	BRIGHTNESS	CONTRAST	SHARPNESS
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
		左右位置調整	上下位置調整	角度調整	幅調整
		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)

アップデート手順

● USBの使用出来るノートPC(Windows)を用意します。
a/tackホームページより、UPDATEツール(AtackDFU)と該当するUPDATEプログラムを
ダウンロードして解凍します。AtackDFUはPCにインストールします。
● AtackDFUを起動して、当製品のUPDATE用USBケーブルをノートPCへ接続します。
(長さが足りない場合は延長ケーブルをご用意ください。)

● 当製品のプログラムUPDATE画面を開き、「UPDATE」アイコンを選択します。
● 当製品が動作を停止して純正画面へ戻ります。
● AtackDFUが「デバイスが接続されました」と表示されます。
※PCとの相性により表示されない場合が有ります。その際はキーOFF後1分ほど放置して
車輌のCAN信号が停止してからUSBケーブルを接続して下さい。

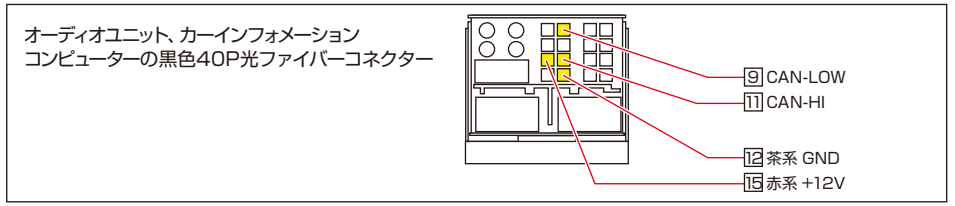
● AtackDFUの「プログラム選択」をクリックしてUPDATEプログラムを選択して、「アップデート」
をクリックします。
● プログラムの更新状況がバーグラフで表示されますので終了するまで待ちます。
● その後USBケーブルを抜きます。
● 車輌のキーをOFFにして約1分放置してCAN信号が停止するのを待ちます。
(スターターS/WのLEDが消灯するまで待ちます。)

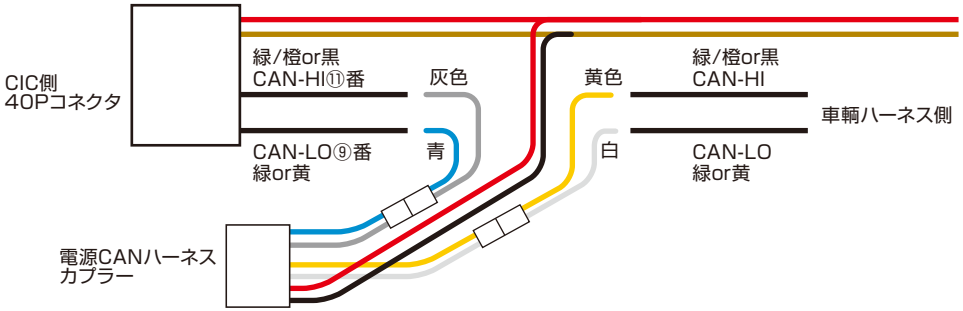
● 再度、車輌のキーをONにしてiDriveコントローラーのMENUボタンを長押しして、当製品の
メニュー画面上でプログラムVrを確認してください。
アップデートは随時行って行きます。機能の追加など、ご期待ください。
※車輌のCAN信号が停止状態の時は、この手順を踏まなくてもいつでもUPDATE可能です。

● USBケーブルを接続せずに「プログラムUPDATE」アイコンをプッシュしますと、当製品は再起動だけ行います。

電源/CANハーネスの接続

● 純正オーディオへ接続されていたハーネスを下記イラストの様に加工します。
● 40Pコネクタの CAN信号線(ツイストペア線)⑨番、⑪番をコネクタから10cmぐらいの所で切断します。
● 切断した純正配線に、電源/CANハーネスのCAN信号線をIN、OUT、HI、LOを間違えない様に
接続します。
● 40Pコネクタの⑮番に電源線、⑫番にGNDを割り込ませます。
※配線の太さが異なりますので、分岐タップなどは使用せず、ハンダ付けなど確実な接続
を行ってください。





iDriveコントローラーがHS-CANの車輌

装着車輌が2012、8月以降の5シリーズ、6シリーズ車輌はiDriveコントローラーのCAN配線色を
確認してください。該当車輌でもCIC裏のCAN配線はFT-CANの為、見た目で気づく事は出来ません。
iDriveコントローラーがHS-CANの車輌はCAN信号接続先が下記イラストのようになります。

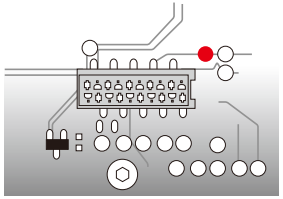
※電源、GNDはコントローラー部で取らず、必ずCIC部40Pコネクタへ接続して下さい。

(E)系車輌用ダイレクト呼び出しリモート入力の接続

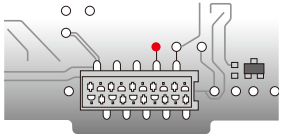
● 2Pリモート入力ハーネスの2番、青線を下記のイラストの箇所にハンダ付けにて接続します。
信号を取り出す事で、ダイレクト呼び出しが対応出来るようになります。

ダイレクト呼び出し機能対応について

オーディオ部分のプログラムボタンにてAV1、AV2をダイレクトに呼び出せる機能を搭載しています。
プログラムボタンにフロントAUXを登録するとワンタッチで映像と音声を切換できる便利な機能です。
F01系、F10系はCANバス信号より判断できる為、標準でダイレクト呼び出し機能を搭載しています。
E87系、E90系、E70系などは、CANバス信号では判断できない為、オーディオフェイスパネル裏より信号線を取り出す必要があります。
オーディオフェイスパネル裏の基板よりハンダにて信号線を取り出す必要が有る為、作業時は十分ご注意ください。
当作業でシステムに問題無いのは確認済みですが、他の要因で純正オーディオに不具合が起きた際、保証を受けられない可能性が有ります。
上記内容を十分ご理解し、ユーザー様のご承諾の上作業を行ってください。
（ダイレクト呼び出し機能は無くてもビジュアルエキスパンドモジュールは動作致します）



E90系 / E87系 / E84 / E89
● 位置へハンダを使用して取付けます。

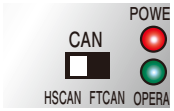


E70 / E71

ダイレクト呼び出し機能用信号線の取付方法（オプション扱い）
車輌開発コードの呼び名のアルファベットが（E）で始まる車輌のみ結線が必要です。
（F）で始まる車輌は必要ありません。
純正オーディオ（CIC）のフロントフェイスパネルを取り外します。
（横にスライドさせると取り外せます。ツメ注意）
リボンケーブルの赤ライン側から4番目の線が基板と繋がる部分よりハンダを使用して信号線を取付ます。
右図を参照。（十分ご注意ください）
配線が噛みこまないようにフロントフェイスパネルの隙間から取り出して組み付けます。
ビジュアルエキスパンドモジュールの2Pリモート入力線の青線と接続します。

スライドスイッチの設定

車輌のボディCAN信号がK-CAN制御かK−CAN2制御かで設定が異なります。
CIC部分のCAN信号配線色で判断してください。



FT CAN車輌　CAN配線色（橙/緑&緑）or（黒&黄）
HS CAN車輌　CAN配線色（黄/赤&黄/茶）

DIPスイッチの設定

DIPスイッチは下記の指示に従い設定を行って下さい。

1
ON　プログラム設定（FT CAN）
OFF　プログラム設定（HS CAN）

2
ON
OFF
通常はOFFでご使用ください。モニターに映る映像が乱れる場合はONに切り替えて下さい。
（中国、TPO社製モニター装着車輌）ONに切り換えて下さい。

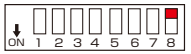
3
ON
OFF
通常はOFFで使用してください。純正GPSの受信に問題が発生する車輌の場合はONにします。
詳しくは裏表紙をご覧ください。

4
ON　未使用
OFF　未使用

5
ON　未使用
OFF　未使用

6
ON　未使用
OFF　未使用

7
ON　未使用
OFF　未使用

8 
ON　未使用
OFF　未使用

装着する車輌に合わせ、DIPスイッチを設定します。
確実に設定してください。設定を間違えますと、動作しない他、車輌側も正常に動作できません。

メンテナンスモード画面

● このモードはディーラーにてテスターを繋ぎ、プログラミング時のエラーを回避させる為のモードです。

● このモード内のアイコンを選択すると、当製品は動作を停止して純正状態となります。
当製品の動作状況LEDが、（赤）POWER=点灯、（緑）OPERATE=消灯となります。

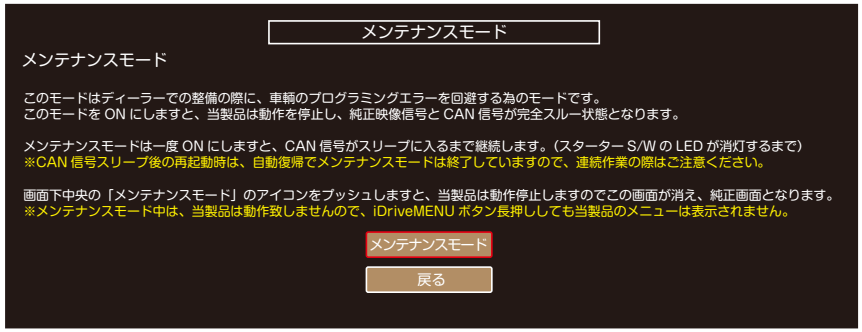
● モニターケーブルとCAN信号線が当製品をスルーで出力となります。
（当製品は動作停止状態となっている為、MENUボタン長押しをしてもTOP MENUには切り替わりません。）

● BMWメンテナンスモードはキーOFFで約1分放置してスタータースイッチのLEDが消えるまで継続されます。

● その後のキーONでは自動復帰となります。

メカニックの方へ

車輌プログラミング作業を行う際は、キーOFFで放置してCAN信号が停止してしまいますと、次回CAN信号復帰で当製品も通常動作を開始してしまいます。
連続作業の際はご注意下さい。



セーフティモード

● この機能は(V)入力に接続したAV機器の映像を走行中は表示出来なくする機能です。

● この機能が「非解除」の場合、停車中は視聴出来ますが、走行し始めると、純正画面に戻り、
画面右下に「走行中は表示出来ません」とOSD表示されます。
停車すると、元の状態に戻ります。

※ 走行中はiDriveコントローラーの操作も純正状態となります。
ただし、MENU、RADIO、MEDIAorCD、MAP、TELボタンを押すと、(V)入力のモード
から抜け出し、完全に純正画面状態となりますので停車しても(V)入力表示には戻りません。
(右下のOSD表示が消えます)

※ (C)入力のカメラには影響は有りません。

● この機能が「解除」の場合、停車中、走行中問わず、視聴制限は掛かりません。

※ 走行中の画面の注視は危険です。この機能を「解除」で使用する場合は自己責任でお願います。

各ケーブルの接続

● 同梱モニターケーブル
当製品本体のLVDS OUTと純正モニター間を接続します。

● 純正モニターケーブル
純正モニターから外した部分を、当製品本体のLVDS INに接続します。
OUTのケーブルを先に接続しておかないと挿せなくなります。

● 電源/CANハーネス
CIC裏の純正ハーネスに割り込ませ加工したハーネスを本体の
POWER/CANコネクタに接続します。

1	赤	12V電源、純正配線の⑮番へ接続
2	黒	GND、純正配線の⑫番へ接続
3	黄	CAN-HI(IN側)⑪番の車輌側へ接続
4	白	CAN-LO(IN側)⑨番の車輌側へ接続
5	灰	CAN-HI(OUT側)⑪番の純正ユニット側へ接続
6	青	CAN-LO(OUT側)⑨番の純正ユニット側へ接続

iDriveコントローラーHS-CANの車輌はCAN配線接続が異なります。8ページ参照。

● 6P電源出力ケーブル

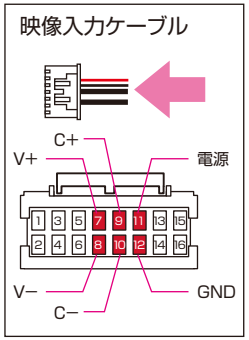
1	赤	ACC連動電源	MAX 1A
2	橙	イルミ連動電源	MAX 1A
3	紫	リバース連動電源	MAX 1A
4	緑	Pブレーキ連動信号(iDriveコントローラーHS-CAN車輌は出力不可)	
5	桃	スピードパルス信号	
6	黄	CAN信号連動電源(CAN起動中に12Vを出力)	MAX 1A

● 2Pリモートケーブル

1	白	(C)入力表示リモート入力
2	青	(E)系車輌用ダイレクト呼び出しリモート入力

● 映像入力ケーブル

(V)入力	地デジなどのAV機器の映像入力
(C)入力	カメラなどのビデオ機器の映像入力
電源/GND	(C)入力の表示に連動して電源を出力します。



● 地デジリモコン受光部
地デジチューナーに付属の受光部は当製品のIR-INに接続します。 コントロール機能対応チューナーのみ

● 3.5Φミニジャックケーブル
当製品のIR-OUTと地デジチューナーの受光部接続部を接続します。

※ 当製品の(C)入力の映像はカメラ用に用意してますが、リバース時以外にも任意に表示が可能です。
(C)表示連動電源は当製品が(C)入力映像を表示動作の時に連動して電源を出力します。
この電源を使用せずにバックカメラをリバース電源で取得した場合、リバース時以外での
表示の時はカメラが起動されず、ブルースクリーンとなります。ご注意ください。

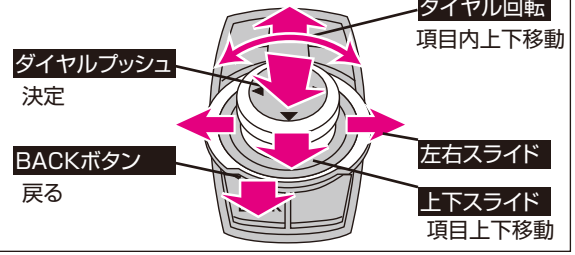
当製品のMENU設定

TOP MENUの表示

● iDriveコントローラーのMENUボタンを長押しします。当製品のTOP MENU画面を表示します。

MENU内での操作方法

ダイヤル回転	項目内上下移動
左右スライド	左右移動
ダイヤルプッシュ	決定
BACKボタン	戻る
上下スライド	項目上下移動
MENUボタン	純正画面に戻る



● 画面右下にはプログラムVrが表示されます。

● 表示されている各入力のアイコンを選択すると、その入力画面を表示します。
「VEM詳細設定」を選択すると、各種詳細の設定が出来る画面に切り替わります。

詳しくは12ページを参照してください。

● 「メンテナンスモード」を選択すると、メンテナンスモードに移行する為の注意画面が表示されます。

詳しくは18ページを参照してください。

● 「プログラムアップデート」を選択すると、アップデートの手順紹介画面が表示されます。

詳しくは19ページを参照してください。

MENUから退出するには、MENU、MEDIAorCD、RADIO、TEL、MAPボタンのいずれかを押します。

ガイドライン調整詳細設定

● (C)入力詳細設定で「ガイドライン表示」を選択すると、カメラ映像が表示され、画面上に調整項目のアイコンが表示されます。

● ラインの再調整をする場合は、一旦「表示しない」に切り換えてから再度「表示する」の操作を行って下さい。

※この時に表示されるガイドラインは、ステアリング連動動作は致しません。

左右位置調整

カメラが車輌のセンターに装着されない場合、調整します。

上下位置調整

ガイドラインの手前赤ラインがバンパーに被る位置に調整します。
バンパーが映らない車輌は適度に離して設定してください。

角度調整

駐車場などのラインを目安に角度を合わせます。

幅調整

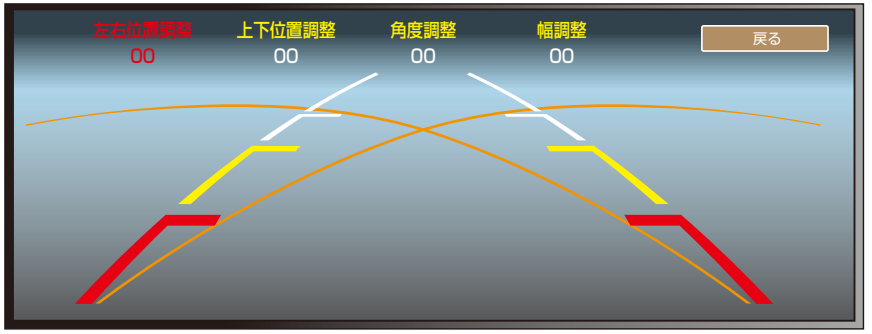
ラインの幅を調整します。

● 調整が終了したら、「戻る」アイコンを選択して戻ります。

● iDriveコントローラーのBACKボタンでも戻れます。

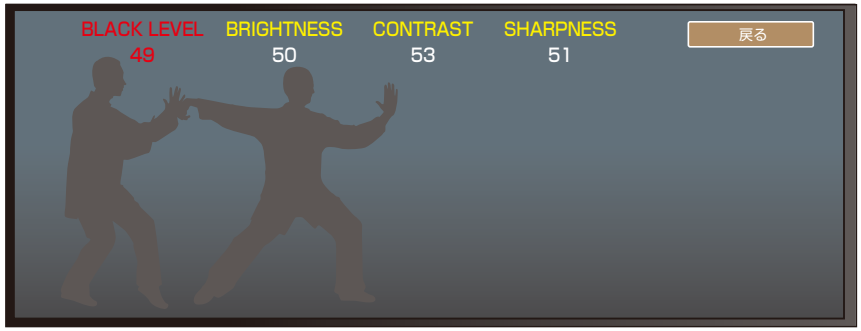
● iDriveコントローラーのMENUボタンを押すと純正画面に直接戻れます。

当製品に搭載の操舵角連動ガイドラインはあくまでも目安です。
使用するカメラによっては、正しく表示出来ない場合が有ります。



画質調整詳細設定

- ●調整する映像入力からの映像が表示され、画面上に調整項目のアイコンが表示されます。
- BLACK LEVEL、CONTRAST、SHARPNESS、BRIGHTNESSが調整出来ます。
  調整項目を左右スライドで選択します。(選択項目は赤文字に変化します。)
- ダイヤルを回しますと、数値が変わり調整できます。
- 映像の調整ではイルミOFFの時の設定とイルミONの時の設定が個別に登録出来ます。
  イルミがONかOFFかを当製品が自動認識しますので、昼間と夜間を個別に調整してください。
  ※画面左下にアイコンが表示されます。
- 調整が終了したら、「戻る」アイコンを選択して戻ります。
  iDriveコントローラーのBACKボタンでも戻れます。
  iDriveコントローラーのMENUボタンを押すと純正画面に直接戻れます。

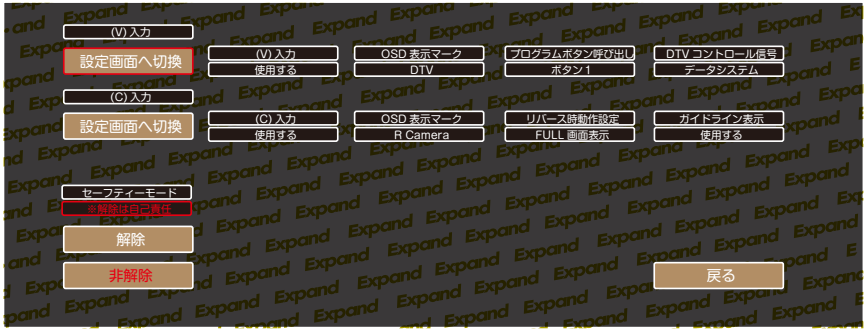


詳細設定画面

- 各設定項目のアイコンが表示されます。アイコンの右側に表示されている内容が現在の設定状況です。
  変更したい項目のアイコンを選択すると、その項目の設定画面へ移行します。

※セーフティモードの項目はON/OFFだけなので、この画面で直接操作します。

セーフティモードOFF	当製品の(V)入力に接続した映像機器の映像が走行中でも見れる状態です。
セーフティモードON	上記に対して走行中は観れなくなり、純正画面となります。 停車すると元に戻ります。 ※画面右下に「 **走行中は表示出来ません** 」とOSD表示されます。



AV入力詳細設定

AV入力
AV入力を使用するかしないかを設定します。使用しないを選択するとTOP MENUの中にも
アイコンは表示されません。

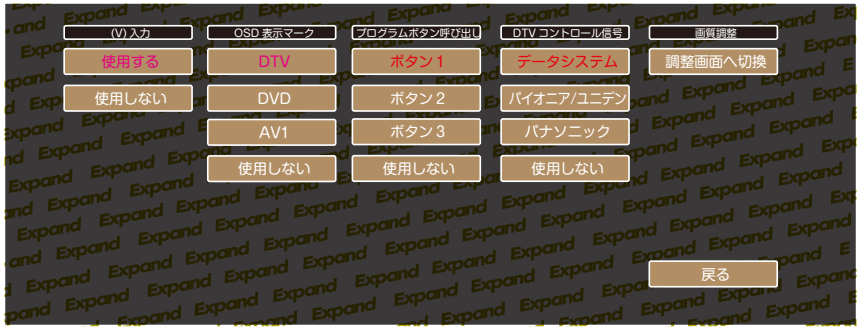
OSD表示マーク
AV画面に切り換えた際に1秒間左上に表示されるマークの選択です。
AV1 **DTV** **DVD** **使用しない** から選択できます。

プログラムボタン呼び出し
AV入力をオーディオ部分のプログラムボタンで直接呼び出せる設定です。
設定したボタンにAUXを登録すると、映像と音声が同時に切り換え出来ます。
ボタン1 **ボタン2** **ボタン3** **使用しない** から選択できます。

DTVコントロール信号
取り付ける地デジチューナーに合わせ設定します。

※コントロール出来る地デジチューナー
データシステム、パイオニア/ユニデン、パナソニック、ヒューマックス

画質調整
選択すると、AV入力の画面を表示して画質の調整が出来ます。（詳しくは15ページ画質調整の項目参照）
イルミON/OFFで個別設定可。



カメラ入力詳細設定

カメラ入力
カメラ入力を使用するかしないかを設定します。使用しないを選択するとTOP MENUの中にも
アイコンは表示されません。

OSD表示マーク
カメラ画面に切り換えた際に1秒間左上に表示されるマークの選択です。
（小窓表示の場合はOSD表示されません）
R Camera **S Camera** **Radar** **使用しない** から選択できます。

リバース時動作
バックギヤに入れた際にどのような動作をするか設定します。

FULL画面表示 バックギヤ連動でカメラ映像をフル画面で表示します。
社外バックカメラを装着する際に選択します。

PinP画面表示 純正PDC装着車輌に社外バックカメラを装着する場合に選択します。

純正画面に戻る 純正バックカメラ装着車輌の場合に選択します。

無反応 バックカメラ/PDC非装着の場合に選択します。
AV入力を視聴中は、AV入力を表示したままになります。

ガイドライン表示
FULL画面表示/PbyP画面表示を選択した場合のみ選択できるようになります。
「表示する」を選択するとカメラ映像に切り替わりガイドライン調整が出来ます。
※再調整をする場合は、一旦「表示しない」に切り換えてから再度「表示する」の操作を行って下さい。
（詳しくは16ページガイドライン表示の項目参照）

画質調整
選択すると、カメラ入力の画面を表示して画質の調整が出来ます。
イルミON/OFFで個別設定可。（詳しくは15ページ画質調整の項目参照）